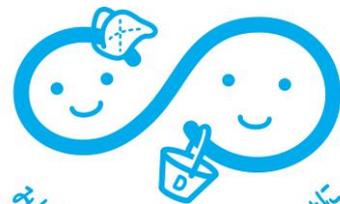


小学校用『われらクリーン調査隊』授業5
「よごれに合ったそうじの方法を考えよう」

ガイドー式



みんなで作ろうキレイをいっしょに

目 次

【全体の概要】	3
【授業5】	
概要	6
授業進行ガイド	7
参考資料ガイド	10

われらクリーン調査隊

小学校対象 / 生活科・家庭科・総合的な学習の時間 / 1 時間(45 分) × 7 授業
※各授業は原則 45 分で完結していますが、2 時間連続での実施を推奨している授業もあります

●授業の概要

われらクリーン調査隊は、掃除について楽しく学び、学校・家庭生活に活かすダスキンオリジナルカリキュラムです。効果的な掃除の指導法を教えてくださいという先生方の声を受け、現職の先生方の力をお借りして開発いたしました。カリキュラムは、学級活動で取り組めるよう、各授業が 1 時間(45 分)で完結するように作成されています(授業 6・発展授業のみ 2 時間(90 分)をお勧めしています)。

カリキュラムは、

- ☑【基礎・基本編】授業 1～授業 5
- ☑【応用編】授業 6～授業 7
- ☑【発展編】発展授業

の 3 段階 8 授業で構成されています。各授業における対象学年を設定していますが、学校やクラス・児童の状況に応じてアレンジして、実施いただくことも可能です。

また全授業ともに、学校の毎日の掃除時間と連動させることで、学習した内容を継続的に実践・応用されることをお勧めします。

●学習指導要領での位置づけ

【生活科】

目標 自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、地域のよさに気付き、愛着をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようにする。

内容 公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。

【家庭科】

目標 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにする。

内容 住まい方に関心をもって、整理・整頓(せいとん)や清掃の仕方が分かり工夫できること。

【総合的な学習の目標】

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

● **授業の構成** ※本授業の背景を色づけしています。

基礎・基本編

授業 1 どうしてそうじをするのだろう(45分) 【対象:全学年】

掃除に対して日ごろどのような思いで取り組んでいるかなどを振り返らせ、掃除をしなかったらどうなるかを想像したり、実際に教材を確認したりしながら、掃除の必要性について探っていく。

※低学年向け授業案・教材と、中・高学年向け授業案・教材を用意しています。

授業 2 そうじ用具を正しく使おう(45分) 【対象:全学年】

掃除用具の正しい使い方について学習する。ダスキンが提供する映像教材や、実習を通して掃除用具に対する理解を深め、掃除に対する意欲向上にもつなげる。

※ぞうきん・ホウキ(チリトリ)・掃除機・モップについて学習できます。

授業 3 学校そうじの正しい手順を知ろう(45分) 【対象:全学年】

掃除の正しい手順について学習する。ダスキンが提供する映像教材や、実習を通して掃除手順に対する理解を深め、これからの掃除に対する意欲向上にもつなげる。

※黒板の拭き方、窓の拭き方、階段の掃き方、廊下の掃き方、トイレ掃除について学習できます。

授業 4 身近にあるものを使ってそうじをしよう(45分)【対象:全学年】

学校にはどのような汚れがあるかを確認した上で、汚れに対して効果的な掃除方法、身近なものを掃除用具として活用できることに気づき、実際に効果を感じることで今後の活動への意欲を持たせる。

授業 5 よごれにあったそうじの方法を調べよう(45分) 【対象:中・高学年】

実習を通して、汚れにあった掃除方法、用具を正しく選択することの大切さに気づく。また、汚れにあった掃除方法を考え、正しい方法を知ることで、これからの生活に活かしていこうという意欲を持たせる。

応用編

授業 6 学校そうじの合格基準を作ろう(90分推奨) 【対象:高学年】

学校をいつもきれいにするには、どうすればよいかを考え、誰もが理解できる学校掃除の合格基準を作成する。担当場所の合格の状態をデジタルカメラで撮影し、合格基準を保つためにはどのような掃除をしたらよいか、掃除の手順を見直し、考える。

授業 7 世の中にはどんなそうじがあるのだろう(45分) 【対象:中・高学年】

家庭や学校などの身近な掃除から、それ以外の場所の掃除やプロの掃除まで掃除に対する児童の意識を広げる。そして、快適な生活を保つために、地域の人や掃除のプロが、常に努力をしていることに気づかせ、社会での掃除の必要性を理解させる。

発展編

発展 下級生にそうじの大切さや方法を伝えよう(90分) 【対象:高学年】

掃除の大切さや掃除用具の正しい使い方、手順をふりかえり、他の学年に伝えることで、掃除に対する理解を深め、毎日の掃除時間への応用につなげる。

※【基礎・基本編】の学習後に実施いただくと効果的です。

※きょうだい学級など、高学年が低学年の掃除を手伝うときにご活用いただけます。

●授業のねらい

学習項目	知識・理解	関心・意欲・態度	思考・判断・ 創意工夫	技能・表現
授業1 どうしてそうじをするのだろう	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 掃除の大切さ、必要性がわかる ➤ 生活していると自然に出る汚れと人間が出す汚れに気づく 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 掃除に関心を持ち、汚れや掃除をすることに興味を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 掃除をしなければどうなるのかを考える 	
授業2 そうじ用具を正しく使おう	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 効果的な掃除用具の使い方がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 学習したことを、掃除の時間に应用したいという意欲を持つ ➤ 学習したことを家庭での手伝いとして実施してみようという意欲を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 掃除用具の効果的な使い方と、効果的な理由を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 効果的な掃除用具の使い方を習得し、掃除時間などで実践できる
授業3 学校そうじの正しい手順を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 効果的な掃除の手順がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 学習したことを、掃除の時間に应用したいという意欲を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 効果的な掃除手順と効果的な理由を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 効果的な掃除の手順を習得し、掃除時間などで実践できる
授業4 身近にあるものを使ってそうじをしよう	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 身近なものを工夫することで、効果的な掃除用具になることがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 掃除に関心を持ち、積極的に掃除に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ どのようなものが掃除用具になるか考える ➤ 身近なものが掃除用具として、どのように活用できるかを考える 	
授業5 よごれに合ったそうじの方法を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 汚れの種類によって掃除の仕方や掃除用具を工夫することがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 掃除に関心を持ち、積極的に掃除に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 汚れに合った掃除の仕方はどのようなものか考える ➤ 汚れに合った掃除用具や掃除方法はどのようなものか考える 	
授業6 学校そうじの合格基準を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 合格基準とは何かがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ みんなが快適に過ごせる環境づくりに関心を持つ ➤ 合格基準をつくってみようという意欲を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ みんなが快適に過ごせる、きれいな学校にするにはどうしたらいいかを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 見る人を意識した撮影ができる ➤ 気づいたことをワークシートにまとめられる
授業7 世の中にはどんなそうじがあるのだろう	<ul style="list-style-type: none"> ➤ なぜ掃除のプロが求められているのかがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 快適に生活するために、今後の掃除に対しても、意欲的な姿勢を示す 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 掃除のプロの話を知った上で、掃除にはどのような意義があるか考える 	
発展 下級生にそうじの大切さや方法を伝えよう	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 要点をまとめて整理する 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 他の学年に掃除の大切さや必要性を伝えようという意欲を持つ ➤ グループで協力して活動しようとする態度を示す 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 相手にわかりやすく伝えるためには、どのようなことに気をつけなければならないかを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 相手にわかりやすく伝えることを意識して伝える

授業5 よごれに合ったそうじの方法を考えよう

【対象：中・高学年】

実習を通して、汚れにあった掃除方法、用具を正しく選択することの大切さに気づきます。また、汚れにあった掃除方法を考え、正しい方法を知ることによって、これからの生活に活かしていこうという意欲を持たせます。

進行概要

	min	概要
導入	5	汚れに合った掃除の方法について考えることを伝える
展開①	20	汚れに合った掃除方法について実習を通して学習する ・汚れた場所・汚れの種類によって掃除方法の違いがあることに気づかせる
展開②	15	汚れに合った掃除方法を考える ・参考資料をもとに、汚れに合わせた掃除用具と掃除方法を確認する
まとめ	5	本日の振り返り

使用教材

	タイトル	仕様	画面	概要	使用
①	スライド教材 (よごれに合ったそうじの方法を考えよう)	Microsoft® PowerPoint®	5画面	汚れに合った掃除の大切さについて気づく教材	教師
②	参考資料 (よごれに合ったそうじの方法を考えよう)	Microsoft® Word® (A4サイズ)	1枚	汚れに合った掃除方法・掃除用具を説明した資料	児童

準備物

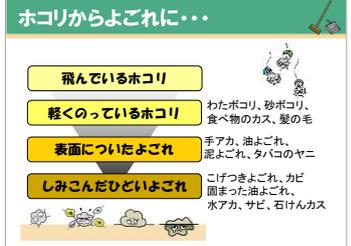
配付資料： ・参考資料

機材： ・PC(スライド教材の準備)
・スクリーン
・プロジェクター

その他： ・実習で使用するもの(P.8 実習準備物を参照)

「よごれに合ったそうじの方法を考えよう」 授業進行ガイド

進行用スライド		流れ	
導入 5分		ねらい 進行・教師の投げかけ	<p>●授業の見通しをもつ</p> <p>【説明】 ・普段いろいろな場所の掃除をしています。今日は、汚れに合った掃除の方法を考えましょう。</p>
			<p>●汚れに合った掃除方法、掃除用具を正しく選択することの大切さに気づく ●身近な用具を工夫することで、効果的に汚れを落とすことができることに気づく</p> <p>【説明】 汚れに合った掃除の方法を考えるにあたって、今から1つ実習をします。</p> <p>※実習「水性サインペンと油性サインペンの汚れ落とし」の実施 詳細は欄外をご覧ください。児童が実習を行うと効果的です</p> <p>【説明】(実習の振り返り) ・実習を通して、効果的に汚れを落とすためには、いくつかのポイントがあります。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>●ポイント！</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 汚れの種類に合った掃除方法、洗剤、用具を選ぶこと 2. 掃除をする対象面に合った掃除用具を選ぶこと </div> <p>【説明】 ・たとえば手洗い場は、金属たわしで掃除すると傷がついてしまうのでスポンジたわしを使うほうがよいですね。このように、普段の掃除でもガラスや板、ビニールなどの素材によって掃除用具や洗剤を選ぶことが大切なのです。</p> <p>※ポイントの2「掃除をする対象面に合った掃除用具を選ぶこと」のイメージが児童にできていないように感じられた場合は、具体例を用いて補足する。</p>
展開① 20分		ねらい 進行・教師の投げかけ	(This content is merged into the previous row's description for better readability and to match the visual structure of the original document.)

<p>展開② 15分</p>	<p>ホコリからよごれに・・・</p> 	<p>ねらい</p>	<p>●汚れと、汚れに合った掃除方法・洗剤・掃除用具を知る</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚れについて見てきましたが、汚れのもとであるホコリに水や油(手の油など)などが混ざってシミに変身していきます。だから、棚や机の上に軽くのっているホコリのうちに掃除をすることが大切なのです。ホコリはついてすぐだったら、簡単に拭き取ることができますね。 ・ホコリは、『飛んでいるホコリ』、『軽くのっているホコリ』、『表面についたよごれ』、『しみこんだひどいよごれ』というように変わっていきます。 <p>※ 参考資料の配付</p> <p>【発問】(参考資料を見て、汚れの種類と掃除方法・掃除用具の確認)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このシート(参考資料)は、汚れの種類による掃除方法や掃除用具をまとめているものです。例えば「綿ホコリ」だったらどんな掃除方法ですか？掃除用具はどんなものが適しているでしょう？ <p>※参考資料「よごれに合ったそうじの方法を考えよう」を見て、汚れについて確認する</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考資料にも、「軽くのっているホコリ」、「表面についたよごれ」、「しみこんだひどいよごれ」それぞれに、「掃除方法」が書いてありますが、3つを比べてみて、どんな違いがありますか？ <p>※自由に発言させる</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「軽くのっているホコリ」は簡単に取れそうですが、「表面についたよごれ」や「しみこんだひどいよごれ」は、強い洗剤も必要ですし、掃除するのに力がいらそうですね。汚れは軽いうちに落とすことが大切ですね。
<p>まとめ 5分</p>	<p>まとめ</p> 	<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●本時を振り返り、学習したことを再度確認する</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は、ペットボトルの汚れを落とす実習をすることで汚れに合った掃除方法や掃除用具を選ぶことの大切さがわかりましたね。 ・参考資料には、家の汚れを落とす方法も載っています。是非おうちの人とやってみてくださいね。

実習「水性ペンと油性ペンの汚れ落とし」

* 実習のねらい

- ・汚れに合った掃除方法、掃除用具を正しく選択することの大切さに気づく
- ・身近な用具を工夫することで、効果的に汚れを落とすことができることに気づく

●準備物

- ・ぞうきん(あれば古いデニムなどの綾織りのハグレ)・固形せっけん・練り歯磨き・歯ブラシ
- ※掃除対象物として、以下のいずれか1つを選んでください
- ・飲料水用の古いペットボトル
- ・下敷き
- ・透明クリアファイルなど

●留意点

- ・対象にはあらかじめ油性ペン・水性ペンにて汚れをつけ、乾かしておいてください
- ・事前に必ず教師にて実習しておいてください
- ・児童に体験させる場合、準備物・対象物ともに必要数準備してください



* 手順(掃除対象物:ペットボトル)

	写真	手順
導入		・グループになり、各グループに固形せっけん、練り歯磨き、歯ブラシ、ペットボトルを配布する
実習 1		①水で絞ったぞうきんで汚れを落とす →水性汚れは落ちるが、油性汚れは落ちない ※汚れの種類によって、同じ用具でも落とせる汚れと落とせない汚れがあることを知る
実習 2		①次に、水で落ちなかった油性汚れを落とすものを探す ②グループで自由に練り歯磨き・固形石けんのどちらか一つを選択させる ③汚れを落としてみる 水で絞ったぞうきんに固形石けんをつけて数回こすったものと、水で絞ったぞうきんに薄く練り歯磨きをぬったもので汚れを落とす ※両方とも落ちるが、固形石けんと練り歯磨きのグループで仕上がりの違い(キズの有無)を確認させ、汚れを落とす対象面にも気をつけることの大切さを伝える。キズがつきやすいペットボトルが比較しやすい。
実習 3		①次に、油性汚れがついたペットボトルのキャップの汚れを取る ②クラスの半分のグループを練り歯磨きをつけた歯ブラシ、半分を練り歯磨きをつけたぬれぞうきんにてキャップの汚れ取りを行う ※選択をさせてもよいが、自由に選択をさせると歯ブラシを選ぶ児童が多くなりすぎると思われる。そこで、教師の方で半分に分ける ※細かいところにある汚れは、歯ブラシのような先の細いものが効果的であることを伝える
まとめ		・汚れによって対象面をキズつけずに汚れを簡単に落とすには、どの洗剤と用具を使ったらよいか、学んだことを確認する



よごれに合ったそうじの方法を考えよう

	よごれの種類	よごれの落とし方	そうじ用具
ホコリ 軽いのり カス	<ul style="list-style-type: none"> ・わたボコリ ・すなボコリ ・食べもののカス ・糸クズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・吸い取る 	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除機
	<ul style="list-style-type: none"> ・手アカ ・どろよごれ ・らくがき (ゆせいペン、すみ、クレヨンなど) ※時間がたっていないもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・かき取る ・こする 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポンジ ・ヘラ
しみ たんぱく質	<ul style="list-style-type: none"> ・べんきに黄色くこびりついたよごれ ・水アカ ・石けんカス ・らくがき (ゆせいペン、すみ、クレヨンなど) ※時間がたったもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・強力せんざいやひょう白ざいを使う ・クレンザーでこすり落とす 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラシ ・たわし ・スポンジ ・ぞうきん ・たい水ペーパー

・「食べもののカス」のよごれの落とし方はどんな方法だろう？ はたく？ 吸い取る？ など、児童に問いかけながら汚れの種類に合った掃除方法・用具・洗剤があることを伝えてください。

・1つの汚れにも掃除方法はいくつかあります（例えば手アカの掃除方法も、水拭き・洗剤を使用して拭くのが両方が当てはまります）。汚れの程度によって掃除方法は変わってきますので、汚れがひどくないうちに掃除をすることが大切です。

・汚れがひどくなるほど、洗剤や力を入れた掃除が必要になることを伝えてください。

ひとくちアドバイス

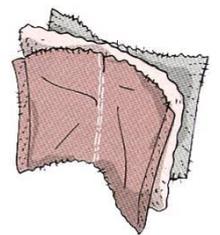
古タオルを切って使い捨てぞうきんに

古いタオルや T シャツ、シーツなどを小さくカット。それをキッチンに置けば、汚れたときにサッとふけて、そのまま捨てられる。ティッシュペーパーの空き箱に入れておくと、取り出しやすく便利。



ハンドタオルでぞうきんブックをつくる

使い古しのハンドタオルがたまったら、数枚重ねて、真ん中をミシンでしっかりぬいつけ、“ぞうきんブック”をつくろう。よごれた面を本のページのようにめくって使えるので、おそうじ中に洗う回数が減らせるよ。



シャンプーをおふろのせんざいに

毎日のおふろそうじはお湯だけで OK。でも週に一回はせんざいをつかっておそうじしよう。かみを洗うついでにシャンプーをスポンジにつけておそうじすれば、てまもはぶけるよ。

まどガラスにはったシールをはがすには

ドライヤーであたためるとはがれるよ。のりのあとが残ったら、マニキュアのじょ光液をつかってこすり取るよ。



フローリングやつくえのえんぴつのはらききは消しゴム、ジグリングクリーム(化粧を落とす)でふき取れるよ。

・授業の中で、身近なもの、不要品を利用して掃除道具をつくることも可能であることを伝えていきますので、実際に作成できる掃除道具のアドバイスを掲載しています。また、おうちの人と一緒にご活用いただけるよう、掃除アイデアも紹介しています。